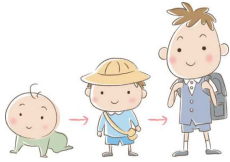




- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



こんなに大きくなりました

6年教室前の廊下には、「こんなに大きくなりました」のタイトルで、一人一人の6年間の成長記録（小学1年と現在の身長）が入学時の写真とともに掲示されています。それを見ると、ほとんどの児童が入学時より40cm以上伸びていて、驚かされました。

小学校6年間での子どもたちの成長は目を見張るものがあります。身体の成長はもちろんですが、心の成長も大人とは比べものにならないくらい大きく成長したはずです。

あと2ヶ月後には中学生になる6年生。中学校での3年間はどのような成長を見せるのか、楽しみです。



新入学保護者説明会がありました

1月24日（金）、来年度本校に入学する児童の保護者説明会が行われ、入学するにあたっての準備や心構え、学校生活のことなどについて、各担当から説明を行いました。

保護者が説明を受けている間、新入学児童は2年生がお世話をしながら過ごしましたが、明るく元気で、今から小学校での生活を楽しみにしている様子が見られました。

2ヶ月後に、笑顔いっぱい入学してくることを楽しみにしています。



かもめ読み聞かせ

1月28日（火）、「おはなしの会かもめ」の読み聞かせがありました。

4年生は、山本百合子さんによるイソップ寓話「きこりとヘルメス」の読み聞かせでした。

きこりが川に落としたオノを、男神が金のオノか銀のオノかと問う物語。私が覚えているのは、「きこりが泉に落としたオノを、女神が…」

だったのですが、どうやら、前者が本物のようです。

正直に生きることの大切さを説く内容に、真剣な面持ちで耳を傾けていました。



入賞者・表彰者の紹介

- ☆ 第17回八峰町全町バスケットボール大会
 - 〈U-12 6年生の部〉 優勝 Nexus
 - 〈U-12 新チームの部〉 準優勝 八森MBBC

☆ GAO年賀状コンテスト2025

- 〈佳作〉

6年	船越 波玖さん	吉村 瞭佑さん
2年	熊谷維千花さん	奈良 藍咲さん
	須藤 碧生さん	

*入賞した作品は、次の会場及び期間で展示されます。

- ・会場 能代郵便局 窓口ロビー
- ・期間 2月3日（月）～7日（金）
9:00～17:00
※最終日は15:00まで

卒業まで一ヶ月あまりとなった6年生が、「お手伝い大作戦」と称して、学校や下級生への感謝の気持ちを、お手伝いで表わそうと取り組んでいます。各学年からの依頼を受けて、朝学習や読書の時間などの取組となりますが、28日（火）は2年生の朝学習において、計算の答え合わせをしてくださいました。



今週の一枚

最後まで、下級生のお手本となってくれる6年生、すてきです!!

授業の様子から



【1年】国語

学習した漢字の定着を図るため、復習に取り組んでいます。全員で漢字のつくりを確認した後、空書きして書き順も覚えました。



【2年】生活

1年間の思い出を振り返り、「楽しい学校生活だったな。3年生になってもがんばりたいな。」という前向きな思いをもたせていました。



【3年】社会

明石市の人口がなぜ増えたのか、グラフや図から考えています。グループで自分の考えを積極的に交流していました。



【4年】算数

周りの長さが同じ四角形の、辺の長さや面積の関係を表にして、気付いたことを全員で交流しながら、深めていました。



【5年】体育

なわとびでウォーミングアップした後、バスケットボールのレイアップシュートに取り組みました。トラベリングに気を付けていました。



【6年】国語

文章を読んで、筆者の主張を100字程度にまとめています。キーワードやキーセンテンスを見つけ、制限字数に収めるのは難しいです。



つぎ

学校再編にあたり

年度末が近づき、校長室の片付けを少しずつ始めました。今年度の様々な文書等を整理するのはもちろんですが、今年は、これまで手を付けることができなかった収納棚にも手を伸ばしています。

すると、「校報『かんかい』平成18年度」とタイトルが打たれたファイルが出てきました。開くと、その通り、学校報が綴られていました。

それを見ると、この年度は、校長先生が加賀英与先生だったこと、八峰町として初めての入学式・卒業式を行ったこと、学校創立28周年を迎えたこと、児童数は約300人だったこと等、様々なことが分かりました。

平成18年度は、町内小学校の統合に向け、統合校の改修計画や経費・予算等についての検討を終えた年度です。この翌年から「学校づくり協議会」が開催され、平成21年度に統合校が開校しており、学校再編に向けて突き進む慌ただしい時期だったと思われます。

当時、数年後の統合を控え、児童、保護者、地域の人たちが、先生方はどのような思いでいたのでしょうか。奇しくも、来月、学校再編の具体的な方策などについて諮問する検討委員会が立ち上げられる予定です。

どのような結論が出されるかは分かりませんが、たとえ、大きな変化があったとしても、変わらないものがあります。それは、校報『かんかい』でも紹介されている、子どもたちの学習やスポーツ活動での頑張り、安全な生活の在り方、お互いを思いやる心の大切さといった「知・徳・体」を、保護者や地域と連携しながらバランスよく身に付けさせることです。

子どもたちを取り巻く環境は刻々と変化しています。その変化に対応しながら、社会をたくましく生きていきたいものです。

